

第 29 回シティネット（アジア太平洋都市間協力ネットワーク）実行委員会の報告

第 29 回シティネット実行委員会が、平成 24 年 7 月 10 日、インドネシア共和国スラバヤ市にて開催されました。前回の政策・総務・財政委員会でご報告したシティネットにおける本市の今後の役割について、同実行委員会で本市から提案し承認されたことなど、開催結果をご報告します。

シティネット実行委員会とは

【役割】 総会で決定した中期計画に基づく 2 か年計画の策定、新会員の承認や事務局の方針決定

【開催】 少なくとも 2 年に一度

【委員】 横浜市、ムンバイ市、マカティ市、カトマンドゥ市、コロンボ市、スラバヤ市、ソウル市、ダッカ市、バンコク都、リヨン市、全インド地方政府協会（AIILSG）、開発研究協会（SDS）

1 シティネットにおける本市の今後の役割について※

・本市が、経験と技術の蓄積を活かして、防災・上下水道・環境・都市計画など会員都市のニーズの高い分野で、専門職員の派遣や研修生の受入など、技術協力と人材育成に貢献してきたことが確認されました。

・拡大する会員ニーズに応えるため、本市は、事務局移転後も会員都市の期待が大きい事業面での支援を引き続き担うことを提案し、承認されました。

※実行委員会において、本市の 25 年間の貢献のほか、今後の役割など本市のビジョンを示すプレゼンテーションを行いました。

※実行委員会の翌日に開催されたシティネット設立 25 周年記念式典において、長年にわたり幅広い分野で都市間協力を行ってきたことにより、「ベストパートナー賞」を受賞しました。

2 事務局の移転について

ソウル市から、平成 21 (2009) 年の総会で賛同を得たソウル市への事務局移転につき、平成 25 年 3 月末の移転にむけた受入準備の進捗状況等の報告がありました。

ソウル市からは、事務局運営のための法人設立が提案され、具体的な内容について引き続き検討していくこととなりました。

3 今後の予定

◆平成 24 年 10 月 30 日/31 日

横浜で、シティネット設立 25 周年記念式典・レセプション／記念セミナーの開催

◆～平成 25 年 3 月末

- ・シティネット事業を支援するための体制づくり（シティネット横浜オフィス[仮称]の開設）
- ・ソウル市や事務局と連携した円滑な事務局移転

◆平成 25 年 11 月

- ・第 7 回シティネット総会（ソウル市で開催予定）